

風薫る石垣を背に大の字に

午後荻窪で開催の句会の前に、皇居二の丸庭園で今を盛りの花菖蒲を鑑賞し、江戸城天守台に向いました。松と石垣、青空を写真に撮ろうと構図を考えていると、中



国人夫婦が来て石垣を背景に写真を撮り始め中々退きません。そのうち男性が石垣に走り寄り、石垣を背に大の字になり、笑いながら奥さんに何かを言っています。早く退けと舌打ちしながら待つ時間の長さ、漸く去っていき撮ろうとしたらアメリカ人夫婦が来て、芸



術家風の髭を伸ばした亭主が同じポーズで天を仰ぎ目を瞑って奥さんが撮影。後刻掲句が浮かんだ時、写真を撮らなかつた事を後悔。次の小句会の午前中に再度足を運びました。若い姉弟らしき台湾人に写真を撮って欲しいと頼まれたのを機に、大の字のポーズを紹介、二人が喜んで撮りあっている隙にこの写真が出来ました。

新樹光医学書を手にはジェンナー像

今まで東京国立博物館では門から本館まで直行でしたが、ふと気付いて周囲を回ってみました。東洋館の側面の木陰に小学生時代を思い出させる懐かしいジェンナーの、医学書を手に取り読む立像がありました。

